

事業所名		いわすぼ		支援プログラム(参考様式)		作成日		R7	年	5	月	1	日
法人(事業所)理念		岩見沢から、世界が目とする育成の先進地へ。 私たち一般社団法人SLDIは、スポーツクラブの運営を通じて、これまでに延べ800名を超える地域の子どもたちと家庭を支えてきました。 運動の楽しさと、子ども一人ひとりの可能性を信じることを原点に、バルシューレやAPS-Childといった科学的で国際的な理論に基づいた運動療育を実践。 発達5領域に沿った支援を軸に、家庭・学校・地域と連携しながら、子どもたちが「その子らしく育つ」環境づくりに取り組んでいます。 そして私たちは、岩見沢の地を「世界に誇れる育成モデルの発信拠点」とすることを目指します。 地域の実践から学び、全国へ、世界へとつながる――未来の育成を、ここから変えていきます。											
支援方針		いわすぼでは、バルシューレの「遊びの中で学ぶ」という哲学と、発達段階に応じた運動療育の専門的な視点を組み合わせ、子ども一人ひとりの運動感覚・社会性・自己調整力を高めることを目指しています。 自由で楽しいボール運動の中で、空間認知や力加減、身体の使い方を自然に学びながら、段階的に「できた！」という成功体験を積み重ねることで、自信と意欲を引き出します。 また、スポーツを通して育まれるのは、運動能力だけではなく。 仲間とのやり取りやルール理解、感情のコントロールといった社会性の発達、さらには生活リズムの安定や主体的な行動の変化など、日常生活全体の改善にもつながる支援を視しています。 子どもが自分らしくのびのびと挑戦できるよう、見通しの持てる安心できる環境と、特性に寄り添った肯定的な関わりを大切に、無理のないチャレンジを支えます。											
営業時間		10	時	0	分	から	19	時	0	分	まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	家庭での生活リズムや日常動作について保護者の方から丁寧にお話をうかがい、子どもの「暮らしの土台づくり」をサポートします。 活動の中心となるバルシューレの遊びながら体を動かす特性を活かし、習慣的に体を動かす時間を日常に取り入れることで、心と体の安定や生活リズムの調整を図ります。 また、気持ちの発散や安心できる環境づくりに大切にし、子ども自身のペースで生活に向き合えるよう支援していきます。											
	運動・感覚	「投げる・蹴る・運ぶ」などの多様な運動遊び(バルシューレ)と、科学的根拠に基づいたAPS-Childの運動療育を組み合わせ、全身運動(粗大運動)と細かな動き(微細運動)の両方をバランスよく育てます。これにより、子どもたちは身体感覚に気づき、自分の身体を思い通りに使える力を身につけていきます。 また、運動の楽しさを感じながら、自己肯定感や感覚統合能力、体幹の安定など、心と身体の基盤を整えることを目的としています。											
	認知・行動	ルールのあるゲームや活動を通じて、見る・聞く・考える・行動するといった認知の力を、自然な流れで育みます。 バルシューレで使用するカラフルな道具を使った宝探しゲームでは、色や形の識別、指差し行動などを引き出します。 また、ゲーム中の模倣や手本の動きに注目することで目と手の協応動作や注視力が高まり、ルールに沿って行動する経験を重ねることで、理解力・集中力・自己調整力の育成にもつながります。 日常的な遊びの中で、楽しく認知と行動の成長を支えていきます。											
	言語コミュニケーション	「言葉だけに頼らない伝え合う力」を大切にしています。 ゲーム中に首を振る、指差す、声を出すなど、非言語(ノンバーバル)コミュニケーションも重視しながら、バルシューレのルール理解や順番のやりとりを通じて、自然な発語や会話のやり取りを促します。「交代しよう」「一緒にやろう」といった言葉のやりとりが生まれる環境を整え、楽しく社会的なコミュニケーション力を伸ばす支援を行っています。											
	人間関係社会性	信頼できる大人との関わりと、仲間との遊びを通じた社会性の学びを大切にしています。 バルシューレのチームゲームでは、「順番を守る」「相手にパスを出す」「仲間と喜び合う」など、他者とのかかわりの中で生まれる体験を通して協調性や状況判断力を養います。「うれしい」「ありがとう!」「いいね!」といったポジティブな声かけを重ねながら、自己肯定感と対人信頼感を育て、自然と関わる力へとつなげていきます。 また、「こんなときどうする?」といった場面を設定し、社会のルールや危険予測力も遊びの中で身につけていきます。											
家族支援		お子様の発達や療育に関するお悩み・ご要望について、保護者の方と丁寧に対話を重ねながら支援の方向性を共に考えます。いわすぼでは、家庭の負担を少しでも軽減できるよう寄り添う姿勢を大切に、必要に応じて学校や関係機関との連携・情報共有も行います。運動療育を軸とした活動と、ご家庭での生活がつながるような、一貫性のある療育環境の実現を目指しています。					移行支援		子どもたちの成長や変化を見守りながら、将来のステップ(進級・就学・他機関への移行など)にもスムーズに対応できるよう、必要に応じて併用施設や学校などと連携して支援内容のすり合わせを行います。バルシューレを活用した運動療育の取り組みや、日々の子どもたちの様子を共有し、途切れのない継続的な支援を実現していきます。				
地域支援・地域連携		保護者や関係機関からのご相談を丁寧にお受けしながら、地域全体で子どもの育ちを支える体制づくりを目指しています。バルシューレを基盤とした運動療育と、発達5領域に基づく視点をもとに、各場面における課題や支援の方向性を明確化。必要に応じて情報共有や助言を行い、地域で一貫した支援が届く仕組みを整えています。					職員の質の向上		子どもたちと真剣に向き合うために、職員自身の学びと成長を大切にしています。療育の専門性に加え、社会人としての基礎力や対人支援力の向上を目的とした定期研修を実施。中長期的な視点での人材育成に取り組んでいます。また、大学研究機関との連携や日本で数少ないバルシューレA級指導者が在籍し、日々の活動においてコーチングの助言や育成を行いながら、探究心をもって継続的なスキルアップを図っています。				
主な行事等		1月新年会 2月豆まき 3月ひなまつり、卒業、卒園おめでとう会 4月進級・おめでとう会幼稚園・就学児童) 5月地域運動会の見学 6月避難訓練 7月地域のお祭りに参加 8月七夕 9月大運動会 10月ハロウィン 11月避難訓練 12月クリスマスイベント											